

校長室だよ



H26(2014)年 NO.10 岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

今年も素晴らしい卒業式でした。 40名が卒業していきました。

3月18日(火)平成25年度の卒業式が行われました。少し心配だった天気もなんとか持ちこたえ、教育委員会 教育総務課 参事 大西謙治 様をはじめ、たくさんの方々に祝福していただきました。

ありがとうございました。今年も、とても感動的な卒業式でした。子どもたちは、証書授与でひとみを輝かせ、自分の夢を堂々とした態度で語り、素晴らしい歌声を体育館に響かせてくれました。4・5年生の子どもたちも素晴らしい呼びかけと歌で6年生を応援しました。浜の卒業式の歴史にまた一つ、伝統を引き継いでくれました。すごい！正に子どもたちは『主役』でした。

今回卒業式で私が話をした式辞を紹介します。

木々の芽吹きが緑を添え、「三寒四温」の言葉どおり春めいてまいりました。平成26(2014)年3月18日、40名の6年生のみなさん「卒業おめでとうございます」。

私は今、一人ひとりに「よく頑張った」というねぎらいと「これからもしっかり」という願いを込めて、卒業証書を手渡しましたが、みなさんの顔はきりっと締まり、目の輝きからは、卒業という喜びと、新しい門出への決意と希望を感じ取りました。

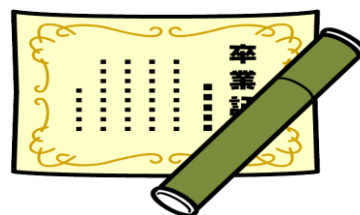
今日は、みなさんの卒業を祝って、岸和田市教育委員会教育総務課 参事 大西 謙治 様をはじめたくさんの方々にご出席を賜りました。高いところから恐縮ではございますが、厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。小さな手を引いて正門をくぐった入学式。あれから6年身も心もこんなに大きくなりました。手塩にかけて育てたわが子の晴れ姿をご覧になっている保護者の皆様にとっては、感慨もひとしおかと思えます。心からお祝い申し上げます。

月日の流れるのは本当に早いものです。入学当時の校舎は耐震工事の最中でした。教室は運動場に建てたプレハブでしたね。覚えていますか。2クラスでした。とてもかわいい1年生でした。中にはいつも教室の後ろで寝そべっている子もいましたね。当時の様子をハッキリと思い出すことができます。そんなみなさんが、こんなに立派に成長してくれて、私も本当にうれしく思います。

さて、今年はロシアのソチで冬季オリンピック・パラリンピックが開催されました。今回もたくさんの感動と勇気をもらいました。私は今回の大会で強く印象に残ったことが2つあります。1つ目は、コメンテーターが述べていたことですが、「オリンピックは力を競います。力を競う究極は戦争です。しかし、オリンピックは戦争ではなくてスポーツという形で力を競い合うのです。しかも、それは平和でなければ開催できないのです」と、全くその通りなのです。平和あつてのスポーツなのです。2つ目は、日本選手のほとんどが口にした「感謝」という言葉です。ソチに来れたことに感謝、メダルの有無に関わらず、支えてくれた人たちに、応援してくれた人たちに「感謝します」という言葉。その人間性に、超一流はスゴイ！素晴らしいスポールマンシップを持った人たちだな！！と感動しました。みなさんはどのような印象を持ちましたか。

ではみなさんの学校生活に対しての私の感想を述べてみたいと思います。例えば、運動会。既に浜の伝統で



ある準備から片付けまでを、今年もリーダー学年として、率先して仕事をしてくれ、また、組み立て表現「浜っ子2013」でのNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の曲を見事に活かした「一気立ち」ピラミッドの表現。声と動きが素晴らしかった。「ボラーレ」の曲に見事にマッチングした「人間起こし」も圧巻でした。脳裏にしっかり焼き付いています。退場時には来賓の方だけではなく、後輩の子どもたちの、応援に対しても一礼をしたみなさん、しかも先生の指示ではなく、「みんなで決めた」「感謝の気持ち」に感動しました。



修学旅行では自分たちで決めたルールを守り、私は夜もゆっくり寝かせてもらいました。さらに、驚いたことは、バスの中でのことでした。これも自分たちで歌い始めた合唱曲。歌謡曲を歌うことはあっても、合唱曲を、しかも、伴奏なしの二部合唱です。私の長い教員生活の中でも初めての経験でした。浜小学校には合唱の、音楽の文化が根付いていることにとっても誇らしく、嬉しく思いました。別の言い方をすれば、それだけ学校自体が落ち着いているということでもあります。みなさんは、先輩たちの素晴らしい歌声を聴いて「自分たちも」と「努力」したのです。すると、ドンドン上手になり、自信へと変わっていったのです。練習で、みんなと呼吸を合わせ、互いの歌声を聴きあう中でハーモニーの気持ちの良さを分かったのでしょうか。

みんなの「本気」と「努力」で仲間と共に上手くなっていき「自信」をつけたのだと思います。

小学校最後の日に、再びみなさんの歌声を聞かせてもらえることをとても楽しみにしています。

このように学習や行事をとおして、「感謝する心」が育ち、文化を享受する落ち着いた学校へと変化する『主役』になったのです。

私はそんな40名の6年生を誇りに思っています。同様にみなさんを支え、指導した浜小学校先生たちを誇りに思っています。

そして、本校教育活動にご理解とご支援を賜った保護者の方、子ども会関係の方、地域の方、全ての方々にも、誇りと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、そんなみなさんに私から贈りたい詩を読ませていただきます。短い詩ですが聴いてください。

本気 坂村真民

本気になると 世界が変わってくる 自分が変わってくる

変わってこなかったら まだ本気になっていない証拠だ

本気な恋 本気な仕事 ああ 人間一度 こいつをつかまんことには

勿論本気になっても、うまくいかないこともあります。そんな時はトライ&エラーです。つまり、トライすれば、失敗・エラーはつきものなのです。でも、まず本気にならないと何も始まらないのです。

それではみなさんの将来の夢が実現することと、幸せになることを願って私の式辞といたします。

岸和田市立 浜 小学校
校長 渡瀬 克美

運動場に真っ白なハトが放たれました。

地域にお住まいの西野さんのご厚意で、子どもたちの卒業を祝って、飼っているハトを飛ばしてあげたいという申し入れがPTA会長さんを通してありました。少し天候が悪く心配していたのですが、無事卒業生の前で、たくさんのおハトが大空にはばたいていきました。子どもたちもあのハトのように広い世界に羽ばたいてほしいと願いました。

西野さん本当にありがとうございました。また、

保護者の皆様、1年間ご理解・ご協力とご支援に対して衷心よりお礼申し上げます。

今後とも、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

